



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月10日

上場会社名 秩父鉄道株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9012 URL <https://www.chichibu-railway.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧野 英伸
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 佐藤 伸 TEL 048-523-3311
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,152	10.9	△90	—	△60	—	△64	—
2022年3月期第1四半期	1,039	39.9	△63	—	△35	—	29	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △63百万円(—%) 2022年3月期第1四半期 △20百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△43.72	—
2022年3月期第1四半期	19.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	22,671	9,970	43.9	6,703.68
2022年3月期	23,703	10,033	42.3	6,746.75

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 9,958百万円 2022年3月期 10,022百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,500	19.0	△30	—	△20	—	△30	—	△20.19
通期	5,700	31.0	380	—	370	—	380	—	255.79

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8頁「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	1,500,000株	2022年3月期	1,500,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	14,414株	2022年3月期	14,414株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	1,485,586株	2022年3月期1Q	1,485,662株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を完全に払拭するには至らず、また、円安の進展に伴う諸物価の上昇などにより、当社グループを取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続きました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、営業収益は1,152百万円（前年同期比10.9%増）、営業損失は90百万円（前年同期は63百万円の営業損失）、経常損失は60百万円（前年同期は35百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は64百万円（前年同期は29百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

[鉄道事業]

鉄道事業におきましては、引き続き、従業員のマスク着用、車内換気、列車・駅設備の消毒など各種の感染症拡大防止策を徹底いたしました。

旅客部門では、行動制限が緩和される中、積極的に増収施策に取り組みました。具体的には、「わくわく鉄道フェスタ」をはじめ沿線の市町や商業施設、同業他社と連携したイベントを開催いたしました。また、「SL深谷テラスパークオープン記念号」などの企画列車を運行したほか、「埼玉パナソニックワイルドナイツ優勝記念入場券」などの各種記念乗車券・入場券を発売いたしました。これらにより、旅客の人員及び収入は前年同期に比べ増加いたしました。

貨物部門では、輸送量が減少したことにより、貨物収入は前年同期に比べ減少いたしました。

また、電力費、修繕費、減価償却費など営業費用は前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は745百万円（前年同期比1.0%増）、営業損失は84百万円（前年同期は17百万円の営業損失）となりました。

[不動産事業]

不動産事業におきましては、請負工事の受注件数が増加したほか、駐車場の稼働率が向上したことにより、請負工事収入及び賃貸収入がそれぞれ前年同期に比べ増加いたしました。

一方、営業費用は、修繕費の発生等の経費が増加いたしました。

この結果、営業収益は94百万円（前年同期比14.9%増）、営業利益は43百万円（同0.4%減）となりました。

[観光事業]

観光事業におきましては、行動制限が緩和されたことやいわゆる県民割により、個人利用が増加したほか、団体利用にも一部回復が見られました。

この結果、営業収益は95百万円（前年同期比32.1%増）、営業損失は11百万円（前年同期は25百万円の営業損失）となりました。

[バス事業]

バス事業におきましては、学校団体など一部の貸切バス需要に回復が見られたほか、受託していたスクールバスの運行業務が開始となりました。

また、営業費用は燃料費高騰などの影響もあり増加いたしました。

この結果、営業収益は51百万円（前年同期比64.1%増）、営業損失は18百万円（前年同期は29百万円の営業損失）となりました。

[その他事業]

その他事業におきましては、卸売・小売業ではコンビニエンスストアの売上が堅調に推移いたしました。

この結果、営業収益は245百万円（前年同期比31.2%増）、営業損失は20百万円（前年同期は40百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態について、総資産は、前連結会計年度末に比べ1,031百万円減少し22,671百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ959百万円減少し1,544百万円、固定資産は72百万円減少し21,126百万円となりました。流動資産減少の主な要因は、その他に含まれる補助金等の未収金が減少したことによるものです。固定資産減少の主な要因は、固定資産の減価償却によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ967百万円減少し12,701百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ951百万円減少し3,354百万円、固定負債は16百万円減少し9,347百万円となりました。流動負債減少の主な要因は、その他に含まれる設備未払金が減少したことによるものです。固定負債減少の主な要因は、退職給付に係る負債が減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ63百万円減少し9,970百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月13日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	749,342	792,131
受取手形、売掛金及び契約資産	254,298	298,488
分譲土地建物	96,178	94,874
商品及び製品	28,279	32,621
原材料及び貯蔵品	146,660	156,574
その他	1,233,829	174,200
貸倒引当金	△4,183	△3,944
流動資産合計	2,504,406	1,544,947
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,201,514	14,203,595
減価償却累計額	△10,018,999	△10,052,254
建物及び構築物 (純額)	4,182,514	4,151,341
機械装置及び運搬具	5,144,445	5,145,425
減価償却累計額	△4,503,978	△4,540,053
機械装置及び運搬具 (純額)	640,466	605,371
土地	15,474,880	15,474,880
その他	1,004,379	1,011,881
減価償却累計額	△648,032	△671,048
その他 (純額)	356,347	340,832
有形固定資産合計	20,654,208	20,572,425
無形固定資産	67,398	63,381
投資その他の資産		
投資有価証券	349,290	349,823
繰延税金資産	97,223	110,315
その他	52,688	52,723
貸倒引当金	△22,054	△22,089
投資その他の資産合計	477,148	490,772
固定資産合計	21,198,755	21,126,579
資産合計	23,703,161	22,671,527

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	285,636	111,778
短期借入金	905,000	905,000
1年内返済予定の長期借入金	1,205,635	1,213,426
未払法人税等	6,591	17,090
未払消費税等	18,711	71,051
契約負債	86,863	98,351
賞与引当金	161,019	98,590
資産撤去引当金	286,885	286,885
その他	1,349,307	551,902
流動負債合計	4,305,650	3,354,075
固定負債		
長期借入金	3,355,609	3,350,986
繰延税金負債	2,011	3,006
再評価に係る繰延税金負債	4,424,078	4,424,078
退職給付に係る負債	1,358,968	1,348,032
特別修繕引当金	31,500	37,800
長期預り金	81,177	82,583
その他	110,179	100,951
固定負債合計	9,363,524	9,347,438
負債合計	13,669,175	12,701,514
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	19,014	19,014
利益剰余金	△590,981	△655,936
自己株式	△31,698	△31,698
株主資本合計	146,334	81,379
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	192,484	192,748
土地再評価差額金	9,693,861	9,693,861
退職給付に係る調整累計額	△9,807	△9,095
その他の包括利益累計額合計	9,876,538	9,877,513
非支配株主持分	11,113	11,118
純資産合計	10,033,986	9,970,012
負債純資産合計	23,703,161	22,671,527

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業収益	1,039,338	1,152,238
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	787,342	908,589
販売費及び一般管理費	315,063	334,247
営業費合計	1,102,405	1,242,837
営業損失(△)	△63,066	△90,599
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	8,523	22,712
土地物件貸付料	3,577	3,541
助成金収入	24,954	12,456
その他	1,183	1,611
営業外収益合計	38,239	40,321
営業外費用		
支払利息	6,557	7,339
減価償却費	3,370	3,370
その他	393	5
営業外費用合計	10,320	10,715
経常損失(△)	△35,147	△60,993
税金等調整前四半期純損失(△)	△35,147	△60,993
法人税、住民税及び事業税	981	16,249
法人税等還付税額	△21,512	—
法人税等調整額	△43,617	△12,293
法人税等合計	△64,148	3,956
四半期純利益又は四半期純損失(△)	29,000	△64,949
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△477	4
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	29,478	△64,954

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	29,000	△64,949
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48,817	263
退職給付に係る調整額	△1,173	711
その他の包括利益合計	△49,991	975
四半期包括利益	△20,990	△63,974
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△20,490	△63,979
非支配株主に係る四半期包括利益	△499	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客への 営業収益	734,952	78,449	71,959	31,161	916,522	122,816	1,039,338	—	1,039,338
セグメント 間の内部営 業収益又は 振替高	2,572	3,756	79	—	6,409	64,003	70,412	△70,412	—
計	737,524	82,206	72,038	31,161	922,931	186,819	1,109,751	△70,412	1,039,338
セグメント利 益又は損失 (△)	△17,474	43,244	△25,440	△29,680	△29,351	△40,328	△69,679	6,612	△63,066

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売・小売業、建設・電気工事業及び旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額6,612千円には、固定資産未実現損益の消去額546千円、セグメント間取引消去6,066千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	742,559	90,666	94,993	51,102	979,321	172,916	1,152,238	—	1,152,238
セグメント間の内部営業収益又は振替高	2,540	3,769	176	35	6,520	72,276	78,796	△78,796	—
計	745,099	94,435	95,169	51,137	985,842	245,193	1,231,035	△78,796	1,152,238
セグメント利益又は損失(△)	△84,014	43,082	△11,903	△18,507	△71,343	△20,993	△92,336	1,737	△90,599

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売・小売業、建設・電気工事業及び旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額1,737千円には、固定資産未実現損益の消去額994千円、セグメント間取引消去743千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入

			当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間	増減率 (%)
旅客人員	定期	千人	1,167	1,156	1.0
	定期外	〃	603	442	36.2
	計	〃	1,771	1,598	10.8
貨物トン数		千トン	393	459	△14.4
旅客収入	定期	百万円	163	162	0.7
	定期外	〃	236	188	25.5
	計	〃	400	351	14.0
貨物収入		〃	278	325	△14.4